

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3068	(H.24)No.	3068
-----------	------	-----------	------

事務事業名 奨学金支給事業(補助金含む)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	学務管理室	中谷 恒雄	63-7873
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 41 年度 ~ 平成 年度	名張市奨学金支給に関する条例・名張市同和奨学金支給条例	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	4	高等教育
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	462001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	奨学金支給事業	
項	教育総務費	(小事業名)	
目	教育振興費	奨学金支給事業(補助金含む)	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>(名張市奨学金) 将来郷土や社会に貢献できる有能な人材を育成するため奨学金を支給し、又は貸し付けます。〔対象〕出願時に高等学校、高等専門学校、又は大学に在学している者、成績優秀で学費が十分でない者、名張市に住所を有する者、又は名張市に保護者が住所を有する者。〔給付〕大学・高等専門学校の1～3年生(10名以内:年額6万円、平成22年度以前からの継続受給者については年額7万2千円)、高等学校又は高等専門学校4～5年生(10名以内:年額12万円)の修学期間、奨学金を支給します。〔貸付〕大学・高等専門学校の1～3年生(10名以内:10名以内:年額18万円または12万円)、高等学校又は高等専門学校4～5年生(年額36万円または24万円)を貸し付けています。)</p> <p>(同和奨学金) 歴史的社会的理由により生活環境の安定向上が阻害されている地域の生徒で、経済的理由により高等学校または高等専門学校に修学が困難な者に対して同和奨学金を支給します。(対象者) 市内中学校を卒業し高等学校に入学した生徒本人及び保護者とも対象地域の住民または出身住民で、経済的理由により修学困難な者(支給額) 国公立:年間81,000円、年間96,000円(生活保護世帯)、私立:年間102,000円、年間114,000円(生活保護世帯)</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>大学、高等専門学校又は高等学校に在学する者に奨学金を支給して、有能な社会人を養成します。</p> <p>歴史的社会的理由により生活環境の安定向上が阻害されている地域の生徒で、経済的理由により高等学校または高等専門学校に修学が困難な者に対して同和奨学金を支給し、将来、地域及び社会に役立つ有為な人材を育成します。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<p>支給奨学金 大学生・高等専門学校4～5年生 23人(2,760千円) 高校生・高等専門学校1～3年生 18人(1,176千円)</p> <p>貸付奨学金 大学生・高等専門学校4～5年生 5人(1,590千円) 高校生・高等専門学校1～3年生 2人(360千円)</p> <p>奨学金選考委員報酬 14千円</p>	<p>支給奨学金 大学生・高等専門学校4～5年生 27人(3,240千円) 高校生・高等専門学校1～3年生 18人(1,128千円)</p> <p>貸付奨学金 大学生・高等専門学校4～5年生 9人(3,120千円) 高校生・高等専門学校1～3年生 7人(1,260千円)</p> <p>奨学金選考委員報酬 28千円 同和奨学金 継続者5人、新規者5人(927千円)</p>	補助金・交付金	その他 ()	
	<p>平成25年度(計画)</p> <p>支給奨学金 4,368千円 貸付奨学金 4,380千円 委員報酬 28千円 同和奨学金 927千円</p>	<p>平成26年度(計画)</p> <p>支給奨学金 4,368千円 貸付奨学金 4,380千円 委員報酬 28千円 同和奨学金 927千円</p>	<p>平成27年度(計画)</p> <p>支給奨学金 4,368千円 貸付奨学金 4,380千円 委員報酬 28千円 同和奨学金 927千円</p>		
直接事業費	5,900千円	9,703千円	9,703千円	9,703千円	9,703千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(基金)	3,936	4,368	4,368	4,368
一般財源	(0) 1,964	5,335	5,335	5,335	5,335
人工数	職員	0.34人	0.47人	0.47人	0.47人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 2,482千円	3,431千円	3,431千円	3,431千円	3,431千円
+ 総事業費	(0千円) 8,382千円	13,134千円	13,134千円	13,134千円	13,134千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	8	8	8	20	30
	実績		5	8	8	27	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
1. 奨学金制度の周知に努め、適正に支給・貸付していく必要があります。また、貸付奨学金の償還が開始されるため、償還の管理が必要となります。 2. 同和奨学金は、同和対策事業として実施していますが、平成14年3月の地対財特法の失効に伴い、実態調査結果との整合を図りながら、一般施策への移行等を検討する必要があります。	1. 適正に管理するシステムの導入が必須となります。また、基金の財源確保も必要です。 2. 関係団体との協議を踏まえつつ、名張市奨学金等の一般施策への移行を検討していきます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
昨今の社会経済の低迷により、経済的理由により修学が困難な方が増加傾向にある中で、財源を確保しながら、対象者の拡大を検討する必要があります。	支給対象人数の拡大や支給額の増、途中学年からの受給等についての意見・要望があり、支給対象人数の拡大や支給額の増、途中学年からの受給を改正により開始しました。また、貸付奨学金も開始しました。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	同和奨学金を一般施策への移行していくために、関係団体との協議をすすめていく必要があります。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	支給奨学金の財源となっている、奨学資金造成基金は、現在寄附金のみを積み立てていますが、今後10年以内に不足するおそれがあるため、市費からも積立をしていくことが必要であると考えられます。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善) 「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項